

動物実験計画書

京都産業大学 学長 殿

受付番号	No. 20	—
提出日	年	月 日
動物実験 責任者	学部・学科	
	氏名	
	内線	

京都産業大学動物実験規程第5条に基づき、下記動物実験計画について申請します。

実験テーマ	(新規・継続)		
実験目的			
実験期間	年 月 日～	年 月 日	※終了日は当該年度末 (3月31日)までとする
実験内容	1 薬物・生物製剤効果 2 臓器・血清など採取 3 免疫機能 4 発癌機序 5 癌治療 (薬物等効果) 6 炎症	7 生理機能 8 移植 9 治療・技術の開発 10 ホルモン 11 代謝・再生 () 12 毒性	13 人工臓器 14 遺伝・育種 15 行動観察 16 その他
実験方法			

共同研究者 又は 実験補助者						
			※記載欄が不足している場合は別紙名簿を要添付			
使用予定 動物種及び匹数	動物種	系統		週令	体重	♂(匹) ♀(匹)
飼育場所						
実験場所						
安全管理上注意 を要する実験	いいえ はい 1 遺伝子組換え実験：□申請中 □承認済（承認番号） 2 病原微生物投与 3 毒物・発癌物質投与 4 RI実験					
動物実験を必要 とする理由	1 代替手段がない 3 代替手段の経費が莫大 2 代替手段の精度が不十分 4 その他（）					
想定される動物 への苦痛度分類 (苦痛分類「SCAW のカテゴリー」参照／「実験方法」 欄に動物の苦痛軽減方法について詳細を記入)	B 脊椎動物を用いた研究で、動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作 C 脊椎動物を用いた実験で、動物に対して軽微なストレスあるいは痛み（短時間持続する痛み）を伴う実験 D 脊椎動物を用いた実験で、避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験 E 麻酔していない意識のある動物を用いて、動物が耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置					
苦痛排除法	1 軽微な苦痛の範囲内ため特に処置は講じない 2 実験の都合上24時間以上の保定・拘束はやむを得ない 3 麻酔薬等を使用する（薬剤名：） 4 人道的エンドポイントを適用する 5 その他（）					
実験終了後 の処置	1 麻酔薬等の過剰投与による安楽死（薬剤名：） 2 炭酸ガスによる安楽死 3 その他（）					
その他 補足事項						

※以下委員会記入欄

動物実験委員会 記入欄	審査日： 年 月 日
	可 条件付可 不可 (理由) 1 遺伝子組換え実験の承認がされれば可 2 その他：
学長承認欄	承認日： 年 月 日 学長 黒坂 光 ㊟